

児童虐待介入基礎演習

疫学、長期的影響、発生要因、予防、心理介入とペアレンティング

このコースは児童虐待事例を扱う看護職者、医療従事者を対象として、児童虐待の疫学、長期の心理的影響を振り返り、どのようなメカニズムで児童虐待が起きるのかを学びます。よくある「産後うつ病が児童虐待の原因である」や「産後うつ病の早期発見・早期介入が児童虐待予防につながる」という単純な議論の問題点に触れます。午後は、児童虐待事例を発見した際の（法律の運用以外の）心理援助手法の基礎を、演習を中心に学んでいきます。最後に、虐待の可能性を低減させる可能性についても学習します。

リモートと対面のハイブリッドです

会場：北村メンタルヘルス学術振興財団

東京都渋谷区富ヶ谷2-26-3 富ヶ谷リバーランドハウス A棟

（地下鉄千代田線・代々木公園駅、代々木上原駅、

小田急線・代々木八幡駅、代々木上原駅、

井の頭線・駒場東大前駅からいずれも徒歩13分）

日程：2021年 8 月 22 日（日曜日）9:30-16:30

参加費：30,000円（当日教材費込み）

講師：北村 俊則（北村メンタルヘルス研究所 所長 熊本大学大学院元教授

ワシントン大学《セトルイス》客員教授）

登録：メールにてご連絡ください（電話でのご登録はできません）。仮登録の後、参加費の事前入金を確認しての正式のご登録になります。

キャンセルポリシー：開催日の10日前までのキャンセルは無料。以降前日までのキャンセルは参加費の50%をキャンセル料として申し受けます。コース開催後のキャンセルについては全額を頂戴いたします。

主催：北村メンタルヘルス学術振興財団

151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷2-26-3 富ヶ谷リバーランドハウスA棟

E-mail info@kitamura-foundation.org URL <http://www.kitamura-foundation.org>

受講対象者

市町村保健師
助産師・産科医・小児科医
精神科看護師
精神保健福祉士・臨床心理士

少人数の
セミナー・
演習形式

